

# エースモール

ACEMOLE system

エースモールは、通信用管路を道路線形に沿って長距離かつ曲線に対応して布設可能な非開削推進工法である。電磁界を用いた独自の位置検知方式と先端装置の制御方式によって長距離曲線推進を実現した。また、先端ヘッドの複推進機構採用による粘性土等の軟土質に対応可能な無排土圧入方式、軟岩を含めた広範囲な土質に対応可能な掘削排土方式を採用しており、管路口径、土質、推進距離に応じて、PC10、PL30、DL35・50の3種類のシステムがある。

## PC(Press-in Compact)10

Press-in Compact 10

PC10は複推進機構を搭載した無排土圧入方式システムで、1985年に導入した。100mの距離と曲率半径150mの曲線推進が可能であり、一工程目のパイロット管推進後、二工程目に直径75mm～350mmまでの管路が布設できる。また、小さい立坑やマンホールからの発進が可能なコンパクトなシステムである。

## PL(Press-in Long)30

Press-in Long 30

PL30は複推進機構を搭載した無排土圧入方式のシステムで、1985年に導入した。250mの長距離と曲率半径150mの曲線推進が可能で、先端装置に追従して直径300mm～350mmの管路を一工程で布設するため、工事期間を短縮できる。システムがシンプルで施工性がよく、先端装置を分割して発進・到達することができる。

## DL(Discharge Long)35, 50

Discharge Long 35, 50

DL35、50は掘削排土方式のシステムで、1988年に導入した。管径に応じて、直径350mm～450mmまではDL35、450mm～600mmまではDL50と使い分けている。250mの長距離と半径150mの曲線推進が可能で、PL30と同じく一工程で管路を布設できる。

また、掘削土砂を泥土化して先端装置後部から取り込む方式により、土質条件に応じたカッタヘッドを採用することで広範囲な土質に対応可能である。

